

## ジャガー・ルクルト 「Rare Crafts Atelier」をオープン

ジュウ渓谷にあるマニュファクチュール ジャガー・ルクルトの歴史的な建造物の中に、卓越した装飾技法を駆使する希少なクラフトマンシップ (Métiers Rares®) のアトリエ「Rare Crafts Atelier」が新たにオープンしました。ここには、エナメル装飾、エングレービング、ジュムセッティング、そしてギョーシェ仕上げなど、メゾンのアイデンティティが刻まれたサヴォアフェール (ノウハウ) が結集しています。このアトリエでは、高い集中力を保ちながら、自然に作業を分担し合い、限りなくインスピレーションを膨らませながらサヴォアフェール (ノウハウ) を応用して、レベルソ・トリビュート・ジャイロトゥールビヨンを始めとする、傑出したタイムピースを生み出しています。

### ガラスの迷路

「Rare Crafts Atelier」では、極めて密接した空間を生み出しています。およそ 30 名の職人は、ガラスパネルで仕切られただけの空間の中で、木製の作業台を使いながら協力して作業を行っており、それぞれが集中した表情で黙々と手を動かしています。もともと、それぞれの分野に応じて異なる階層にいた職人たちが、今日では一つ屋根の下で互いのエネルギーを融合しています。真っ白な作業服に身を包んだ時計職人の奥では、4 つの巨大なタワーが強烈な存在感を放っています。修復され、注油が施された 3 台のギョーシェマシンと 20 世紀初頭のタペストリーメーカー 1 台は、堂々とした雰囲気漂わせ、ギョーシェマシンが光沢のある複雑なカムを覗かせる一方で、タペストリーメーカーは、繊細なモチーフがあしらわれたベークライトプレートを見せています。このモチーフは、ジャガー・ルクルトが継承する偉大な伝統を応用して、ダイヤル上に忠実に再現されます。

### テリトリーデザイン

「Rare Crafts Atelier」では、時計の様々な専門技術を結集した、ハイブリス・アーティスティカの比類なきタイムピースが展開してきた構想を引き継ぎます。ジャガー・ルクルトの行動様式は相互作用の原則に基づいており、マニュファクチュールの時計職人たちは、卓越した技術を携え、分野を越えて、協力する楽しみを学びます。それぞれの能力に応じて組織された、希少なクラフトマンシップ (Métiers Rares®) のアトリエは、それを見事に証明しています。例えば、エングレーバーと面取り職人は、ムーブメントの装飾工程において、それぞれの役割が連続しているため、互いの作業台が隣接されています。面取りをし過ぎたパーツには、エングレービングを施す十分なスペースがなくなるため、職人同士の話し合いが不可欠であり、わずかな確認作業で互いの能力を最大限発揮することができます。

アトリエの配置は、それぞれの技術の連携を目的としているのに加え、今日、教育課程がなくなってしまった (またはほとんど存在しない) 希少なクラフトマンシップ (Métiers Rares®) には継承が不可欠なため、熟練職人と見習い工の関係を強化する狙いも含まれています。アトリエには、ジャガー・ルクルトの狙い通り、技術を身に付けて自立を果たした若い職人がいますが、彼らの指導者は、常にその傍に寄り添い、アドバイスを授けています。こうしてサヴォアフェール (ノウハウ) は引き継がれ、将来への準備が進められています。



「Rare Crafts Atelier」では、豊富なアイデアを宿した職人の好奇心と情熱を原動力として、各分野の職人が自由に交流を図り、インスピレーションを活性化させています。これにより、新たな効果としてこれまでにない驚異的な作品が生み出されているのです。

## 手の一部である工具

バリデーション部門では、あらゆる角度から綿密に検査されたダイヤルとムーブメントが行き交い、その正面には、広い棚が置かれ工具が並べられています。何世紀もの時を越えて、工具はほぼ元の姿を保っています。長い引き出しには、様々な形状をした木製の長いハンドル、短いハンドル、グレーバー（彫刻刀）が敷き詰められています。職人は、自分の手に合わせてハンドルを調整し、グレーバーを使って、エングレービングやセッティング、また素材を浮き彫りにするなど、必要な知識を生かしながら用途に応じてカットを施します。刃を荒削りする、研ぐ、回転砥石で研磨するなど、直観を頼りに仕上げで準備を整えています。

## テーブルの周囲

「Rare Crafts Atelier」が持つ共有の原則は、アトリエの訪問者にまで及びます。ジャガー・ルクルトは、アトリエの中央に、周囲の作業台と対を成す、エレガントで存在感のある特製のウッドテーブルを設置しました。このテーブルは強い印象を与え、一体感を生む舞台美術の重要な役割を担っています。その上には、各作業場に設置されているカメラと接続されたプロジェクターが控え目に置かれており、ストリーミングによる平面投影で 40 倍に拡大し、撮影の承諾を得た職人の作業状況を見ることができます。こうして、取り除かれた真鍮の削り屑や 1 つ 1 つの色素がクローズアップされ、活気のあるスペクタクルが映し出されます。ガラスパネルからは、リアルな動きや職人の緻密で極めて繊細な手さばきを見ることができます。そして、ジャガー・ルクルト製ムーブメントとダイヤルは、私たちの視線を釘付けにします。



# アトリエのメティエ

## ギョーシェ彫り

ギョーシェ彫りは、メゾンの歴史的な技法でありながら、新たな次元に入りました。この技術は、鋭利な工具を固定し、パーツを動かしながら円形または直線的に施していきます。職人の指先の圧力により、削り屑が剥がれ、見事なモチーフが浮かび上がります。丸みを帯びた素朴な輪郭や、直線的またはカーブを描くモチーフが美しく組み合わせられ、驚異的なコントラストを演出します。ギョーシェ彫りは、それを心から愛する職人がマシンを理解し、インスピレーションに導かれた滑らかな動きにより、加工されていきます。その時、ギョーシェ彫りはダイヤルの1つの装飾を越えて、優れた人の手だけが生み出すことのできる輝きを纏います。

## エングレービングとスケルトン加工

時計裏面のパーソナライゼーションは、レベルソ理念の核を成しています。同時に、他のジャガー・ルクルトのコレクションにも、端正なライン、セッティング、ラッカー仕上げ、立体感のある彫り込みなど、卓越した手さばきにより、様々なエングレービングが施されます。簡単なイニシャルなど、シンプルなエングレービングは2時間前後で完了しますが、手で下絵を描く顔や紋章のエングレービングには、丸一週間を要します。エングレーバーは、持ち前の才能を駆使して、ムーブメントの微細なパーツにスケルトン加工も施します。彼らは、ムーブメントの設計図を基に、時計の正常な作動に不可欠な部分を残してデザインを模索します。スケルトン加工職人は、小さな鋸(糸鋸)を用いて、事前に描いたデッサンをパーツに再現します。ジャガー・ルクルト製キャリバー101にスケルトン加工を施し、総重量0.98グラムから0.2グラムの素材を取り除くまでに、3週間の集中した作業を必要とします。

## エナメル装飾

エナメル、それは時を越える色彩です。ジャガー・ルクルトは、グラン・フー・エナメルと呼ばれる、高度で極めて繊細な技法を採用しています。職人は、ゴールド製ケースに0.4mmの広く浅い窪みを設け、そこに3層のホワイトエナメルを施します。次に、金属酸化物で着色したエナメル粉末に油分を混合してモチーフを描き、800度の窯で焼成して下地に焼き付けます。このグラン・フー・エナメル技法は、パーツに清らかな装いと並外れた耐久性をもたらします。ダイヤルは、さらに6~10層の透明のエナメルで保護した後、研磨によって艶やかな光沢を与えます。1つのパーツに対し、17~22回の焼成を繰り返してガラス化させますが、その1回1回において、エナメルにひび割れが生じ、膨大な作業時間が無駄になるリスクをはらんでいます。それでも、アトリエのエナメル職人は諦めることなく積極的に挑戦を続け、ギョーシェエナメルやエナメル細密画など、新しい技法を見出し、さらに磨きをかけています。

## ジュエルセッティング

ジャガー・ルクルトのセッティングは、ハイジュエリーであっても、クラシックモデルのタイムピースであっても、貴石を過剰にあしらうのではなく、心を揺さぶるエモーションを追求しています。石を選別した後、職人はまず素材に無数の穴をあけ、石をあしらうスペースを作り、それを固定するグレインを形成します。セッティングには、バゲットセッティング、ベゼルセッティングに加え、4つのグレインで固定された同じサイズの石をセットした伝統的なグレインセッティングといった複数の技法があります。ジャガー・ルクルトは、ジュエリー製造に特化した技法を時計製造に応用して、新たな風を吹き込みました。スノー・セッティングでは、インスピレーションに導かれた職人が、ゴールドの表面にダイレクトに装飾を施し、サイズの異なるダイヤモンドを配置して覆い尽くします。こうして、1つの爪も凹凸もなく、滑らかに仕上げられます。陶酔を誘うスノー・セッティングは、一度ジュエルセッティングが始まると、最後にどんな逸品が誕生するのか誰にも予想が付きません。メゾンが誇るもう1つの技法「インビジブルセッティング(もしくは



ミステリーセッティング)は、ダイヤモンドで素材を隙間なく覆い尽くし、見事な仕上がりを際立たせます。

「Rare Crafts Atelier」には、セッティング職人 11 名、エナメル職人 7 名、エングレーバー 5 名、ギョーシェ職人 1 名、面取りと圧入を専門に行う 3 名、研磨職人 1 名が在籍しています。時のリズムを刻む大きなガラス窓は、果てしなく広がる美しいジュラ山脈の景色を映し出すと同時に、光をたっぷりと取り込みます。思想家のジャン＝クリストフ・バイイは、職人の仕事への意欲と好奇心をかきたて、限界を超越させるこの光を「無限のアトリエ」と形容しました。

古のメティエは、この傑出したサヴォアフェール(ノウハウ)の聖地において、職人の天賦の才能により初めて現代の言葉に目覚め、かつてない美のメッセージを発しています。

#### マニュファクチュール ジャガー・ルクルト



REVERSO 85TH ANNIVERSARY

1833 年の創業以来、ジャガー・ルクルトは美しいタイムピースおよび高級時計の愛好家を魅了してきました。マニュファクチュールの創業者、アントワーヌ・ルクルトの発明の精神を受け継ぐジャガー・ルクルトの職人は、それぞれのサヴォアフェール(ノウハウ)を結集して、レベルソ、マスター、ランデヴー、デュオメトル、ジオフィジック (Geophysic®)、アトモスといった精巧かつ驚きに満ちたコレクションを生み出しています。

ブランドの豊かな歴史的遺産は、絶えずグランド・メゾンの創作欲を刺激しています。ハイブリス・メカニカ (Hybris Mechanica®) およびハイブリス・アーティスティカ (Hybris Artistica®) コレクションは、ジャガー・ルクルトの職人たちの原動力である溢れる創意を物語っています。

サプライズが待っている 2016 年、ジャガー・ルクルトは 85 周年を迎えるレベルソの新しいビジョンを発表いたします。

それぞれのジャガー・ルクルトウォッチのストーリーは、スイスのジュウ渓谷のアトリエで産声を上げ、この時計を身に着けるオーナーの皆様の手首で輝きを増すことでしょう。

[www.jaeger-lecoultre.com](http://www.jaeger-lecoultre.com)

